

第 1 4 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和 5 2 年 6 月 2 2 日(水) 午後 2 時～ 4 時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 宇宙関係条約特別部会報告について

（説明者：宇宙関係条約特別部会作業グループ

主査 星 野 英 一）

4. 資料

委 1 4 - 1 第 1 3 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委 1 4 - 2 宇宙関係条約の締結に当たつて必要な国内法令
に関する基本事項について（報告）

委14-1

第13回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨

1. 日時 昭和52年6月15日(水) 午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題
 - (1) 関係省庁における宇宙関連研究開発進捗状況について
 - (2) 昭和52年度宇宙開発委員会招へい結果について
4. 資料
 - 委13-1 第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委13-2 関係省庁における宇宙関連研究開発進捗状況
 - 委13-3 共同エアロサット評価計画について
 - 委13-4 宇宙開発委員とカナダ国・省間宇宙委員会議長
J. H. チャップマン博士との会談議事要旨
(ミニッツ)

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	網 島 毅
" 委員	吉 識 雅 夫
" "	八 藤 東 福
" "	斎 藤 成 文
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	園 山 重 道

科学技術庁長官官房参事官
通商産業省機械情報産業局次長

運輸省大臣官房参事官

気象庁総務部長

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

気象庁総務部

郵政省電波監理局

宇宙開発事業団

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

" 宇宙国際課長

佐 伯 宗 治

水野上 晃 章

(代理：角田)

沼 越 達 也

(" : 玉田)

宇津木 巖

(" : 高谷)

鈴 木 登

(" : 佐藤)

門 田 博

(" : 寛)

細 川 弥 重

(" : 渡辺)

高 橋 昭

原 田 祐 治

松 本 一 夫

九 里 茂

伊 藤 栄 一

三 浦 信 他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨について、
3頁の斎藤委員の発言中「細かい制御信号」とあるのを「細
かい単位の制御信号」とするよう一部修正を加えたのち確認
された。

(2) 関係省庁における宇宙関連研究開発進捗状況について

事務局から資料 13-2 及び 3 に基づいて説明が行われたのち以下の質疑応答が行われた。

網島：30 頁のランドサットフォローオン計画の中間報告を NASA に提出したとあるが、契約か何かで報告が義務づけられているのか。

事務局：本計画は NASA の国際的呼びかけに応じて参加したもので、研究成果の報告が義務づけられている。

斎藤：測地衛星開発に関して建設省と NASDA の協力体制はできているのか。

事務局：NASDA にチームを作り、これに建設省が協力して行うことになっている。

八藤：関係省庁とも研究開発は計画どおり進んでいると考えてよいのか。

園山：委員会の定めた計画の遂行を確保できるよう順調に進んでいる。

網島：ETS-II の通信実験については、既に貴重なデータが得られていると聞いているが、研究成果がまとまったら委員会に報告してもらいたい。

ETS-I はいまどうなっているのか。

松本：ETS-I は現在も順調にデータを送信しており、軌道も月に 1 回修正する程度で殆ど異常がない。

網島：3ヶ月の寿命といていたものが現在も異常がないのは、NASDA の estimation が安全 side に寄り過ぎているのではないか。

松本：信頼性の確率をもとに、主要データをとるのは 3ヶ月とした。現在、パワーは落ちているが使用できる範囲内にあり、今後の参考とするため引き続きデータを取っている。

八藤：過去 7 回のエアロサット理事会に日本はオブザーバとして何回参加しているのか。

沼越
(代理：玉田)：第 1 回を除いて毎回参加している。前回は「他の参加者」の参加条件を決めることになっていたが、エアロサット計画自体に対する米国の消極的な態度に議論が集中したため理事会への日本のオブザーバとしての参加の一年延長は認められたが、共同エアロサット評価計画への参加の条件は提示されなかつた。

八藤：衛星が 2 個なくても評価ができるのか。

沼越
(代理：玉田)：1 個では飛行機の位置を決めることができないので 2 個が必要である。

網島：要望事項の審議の際には、太平洋上での実験の必要性について、十分納得させようさらに検討してもらいたい。

(3) 昭和 52 年度宇宙開発委員会招へい結果について

事務局から資料委 13-4 に基づいて説明が行われたのち、ミニッツが原案どおり了承された。